

2025年度の主な活動を紹介します

2025年度、私たちは「ともに生きる」という視点を大切に、活動を展開しました。

NHKやNHKグループ各社をはじめ、さまざまな団体と協力しながら事業を実施するとともに、信頼できる幅広い福祉情報を発信・提供して、社会福祉の増進に努めました。

私たちの活動を知っていただき、今後ともご支援・ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

障害者福祉



♥ NHK障害福祉賞

障害のある人やともに歩む人の体験作文を募集し、入選作品を紹介して障害福祉への理解を広げています。

1966年の創設から60回の節目を迎えた2025年は、例年より多くの作品をご紹介しますため、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞など4つの特別賞を設けて計10作品を選出し、12月5日に東京・渋谷のNHK放送センターで贈呈式を行いました。

入選作品はNHKのテレビ番組「ハートネットTV」や「ラジオ深夜便」でも紹介されました。



入選作品集は
こちらからお読みいただけます



♥ 交流教室 パラリンピアンがやってきた! デフリンピアンがやってきた!

車いすラグビーやブラインドサッカーなど、パラスポーツのトップアスリートが学校を訪問する「交流教室 パラリンピアンがやってきた!」を、首都圏と大阪で5回実施。計1,106人の子どもたちがアスリートと一緒に競技を体験しながら障害への理解を深めました。

「東京2025デフリンピック」の開催にあわせて、9月に初めて聴覚障害のある子どもたちが通う特別支援学校で、デフサッカーの選手たちによる交流教室を開きました。かなえない夢があればアピールしていい、具体的な目標を作って頑張ろう、と後輩たちを力強く励ますなど、スポーツをこえた交流の場となりました。



♥ NHKハートフォーラム

社会的に関心の高い発達障害や、対話を中心にした心のケアの技法「オープンダイアログ」を学ぶフォーラムなどを6回開催し、計3,637人の方にご参加いただきました。

3月には「発達障害がある人の就労」をテーマに開催。

7月からの障害者の法定雇用率の引き上げを前に、先進的な企業の取り組み事例なども紹介しながら、発達障害がある人の就労の課題と可能性を伝えました。

オンラインで実施したフォーラムは、事業団ホームページでアーカイブ配信を始めました。

「発達障害がある人の就労」は
こちらからご覧いただけます ▶



♥ 障害者スポーツ大会などの実施

「障害のあるなしに関わらず、共に支え合い、共に学べる」をテーマに、第3回「小学生ボッチャ競技会」をNHKの関連団体との共催で9月15日に開催。通常学級の児童と特別支援学級・特別支援学校の児童の合同チーム、計27チームが出場しました。お互いに声をかけあい、力を合わせて勝利をめざす選手たちに、会場から熱い声援が送られていました。大会の様子は11月15日にNHK Eテレで紹介されました。

このほか、肢体不自由の子どもたちがスキーやそり遊びなどを体験する「雪と遊ぼう：親と子の療育キャンプ」を、1月に新潟県内のスキー場で開催しました。



地域福祉支援



♥ 地域福祉を支援する「わかば基金」

地域に根ざした福祉活動を展開しているNPOやボランティアグループに支援金を贈り、活動の「さらなる一歩」を後押ししています。

「支援金部門」では、多世代交流の場を運営する団体や障害者の仕事づくりに取り組む団体など18グループにあわせて676万円を支援。「PC/モバイル部門」では、視聴覚障害者の情報保障に取り組む団体など29グループにあわせて278万円を支援しました。



♥ わが町のインクルーシブ防災

自然災害が発生した時、高齢者や障害者などの「避難行動要支援者」を誰一人取り残さず救おうという「インクルーシブ防災」。その普及・啓発を促すワークショップを毎年行っており、11月に宮崎県日向市、3月に横浜市保土ヶ谷区で実施しました。

地域のハザードマップを使いながら、「自然災害が起きた時、あなたの地域で暮らす要支援者をどう救うか」を考えました。



高齢者福祉



♥ 認知症とともに生きるまち大賞

「認知症のある人が、どうすればその人らしく暮らし続けられるか」を考え、実践している活動を紹介するものです。

第9回は45件の応募の中から、本賞として、認知症の本人がやりたいことを実現する活動など4件を選出したほか、ニューウェーブ賞として秋田県と広島県の高校生による活動2件を選出。1月24日に表彰式とオンラインフォーラムを行いました。受賞団体の活動の様子は、1月13日放送の「ハートネットTV」で紹介されました。



♥ 新・介護百人一首

NHK財団との共催で、介護する人、される人の思いを込めた短歌を募集して100首を選びます。9歳から103歳まで、5,840人の方から1万2,943首が寄せられました。選者を務めている歌人の皆さんも参加して行われた「入選者のつどい」では、一つひとつの作品に込められた思いなどを語り合い交流を深めました。



チャリティー



♥ NHK福祉大相撲

日本相撲協会の協力で1967年から始まり、今回は2月7日に両国国技館で開催しました。横綱土俵入りや幕内力士の取組のほか、相撲の禁じ手を面白く紹介する「初っ切り」、力士と歌手の歌くらべなど本場所にはないプログラムが大人気。4,327人にご来場いただきました。障害者施設の利用者363人を招待したほか、この収益などで福祉車両を全国の福祉施設6か所に寄贈しました。当日の様子は2月23日にNHK総合テレビで放送されました。



♥ N響第9チャリティーコンサート

年末恒例のNHKホールでの演奏会のうち一日を、当事業団主催のチャリティー事業として開催しています。12月23日の公演には、視覚に障害のある人と同伴者120人を招待し、あわせて2,698人にご来場いただきました。

会場ロビーでは、福祉施設で作られたお菓子などの販売会も実施しました。



♥ おかあさんといっしょファミリーコンサート・いないいないばあっ!ワンワンわんだーらんど

NHK Eテレの子ども向け人気番組のチャリティーイベントを全国各地で開催。収益の一部をチャリティー金として当事業団の社会福祉事業にあてさせていただきます。



©NHK

©NHK・NED

♥ 福祉ビデオの制作・貸し出し

「福祉ビデオライブラリー」ではNHKの福祉番組と、当事業団が独自に制作した福祉教材ビデオを貸し出しています。2025年度は38タイトルを追加。個人のほか学校や福祉現場で4,236タイトルが利用され、オンラインでも視聴が可能な「オープンダイアログ」は2,135回の利用がありました。最新作「発達障害がある大人の仕事と余暇」の貸し出しを3月から開始し、自治体や企業の研修会、当事者のグループからも利用申し込みが寄せられています。



ビデオライブラリーは
こちらからご利用いただけます



♥ ホームページ・メールマガジンでの情報発信

「さみしい」「死にたい」…。同じような思いをした“センパイ”が経験を語り、若者の気持ちに寄り添う動画コンテンツは2023年度からオンライン配信を開始し、新たに2本を制作しました。このほか、各分野のフロントランナーが福祉を語るインタビュー「フクシなワタクシ」、障害者アートの紹介やメールマガジンなど、さまざまな福祉情報・メッセージをお届けしています。



動画「さみしい死にたい」は
こちらからご覧いただけます



収支報告

2025年度事業活動収支計算書

2025年4月1日～2026年3月31日現在(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
収入	326	支出	342
		当期活動収支差額	△16



NHK HEARTSの活動は、共感していただいたみなさまからの「ご寄付」によって支えられています。お預かりした共感寄付は、「高齢者福祉」「障害者福祉」「子どものための福祉」の充実に還元していきます。ぜひ、共感寄付にご協力ください。

個人のみなさま

継続のご寄付

一口1,000円から、毎月・年1回など、定期的にご寄付いただけます。

1回のご寄付

随時のご寄付も受け付けています。

遺贈によるご寄付

ご自身の財産を未来の社会貢献に役立てる「遺贈」のお預かりもしています。

- ❖ 確定申告によって、所得税(所得控除または税額控除)等の優遇の対象となります。
- ❖ 遺贈によって寄付いただいた財産は、相続税が非課税となる税制上の優遇措置があります。

法人・企業のみなさま

賛助会員

継続してご寄付いただく「賛助会員」(年会費10万円から)の制度があり、社会貢献活動(CSR)にお役立ていただけます。90を超える法人・企業のみなさまにご加入いただいています。

1回のご寄付

随時のご寄付も受け付けています。

- ❖ 賛助会員の会費は、社会福祉法人への寄付金として法人税法上「損金算入」が認められています。



ホームページの「ご寄付」から
手続きができます
<https://www.npwo.or.jp/>

